

# 平成22年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月27日

上場会社名 株式会社 オリバー

上場取引所 名

コード番号 7959 URL <http://www.oliverinc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大川 博美

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 杉浦 福太郎

TEL 0564-27-2800

四半期報告書提出予定日 平成22年9月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年10月期第3四半期の連結業績(平成21年10月21日～平成22年7月20日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年10月期第3四半期	14,634	3.3	1,205	△4.8	1,299	△1.4	581	24.9
21年10月期第3四半期	14,160	—	1,266	—	1,317	—	465	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年10月期第3四半期	47.69	—
21年10月期第3四半期	36.83	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年10月期第3四半期	29,723	19,082	56.4	1,378.69
21年10月期	27,702	19,001	60.6	1,373.49

(参考) 自己資本 22年10月期第3四半期 16,765百万円 21年10月期 16,788百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年10月期	—	9.00	—	9.00	18.00
22年10月期	—	9.00	—	—	—
22年10月期 (予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成22年10月期の連結業績予想(平成21年10月21日～平成22年10月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,850	3.0	1,600	7.8	1,760	11.3	830	239.4	68.01

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3頁「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年10月期3Q 12,976,053株 21年10月期 12,976,053株

② 期末自己株式数 22年10月期3Q 815,409株 21年10月期 752,484株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 22年10月期3Q 12,191,326株 21年10月期3Q 12,642,209株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第3四半期連結累計期間) .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（9ヶ月間）におけるわが国経済は、一昨年来の世界的な金融危機による景気低迷が続く中、政府による景気対策効果により一部の業種で底打ち兆候がみられたものの、本格的な景気回復には至らず引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境の中、当社グループは機能性、独自性の高い商品の開発や、顧客指向型ビジネスを積極的に展開する一方、競争が激化する市場に対応し、引き続き原価の低減及び経費の削減に努めましたが、当第3四半期における連結業績は、売上高が14,634百万円（前年同期比3.3%増）となり、営業利益は1,205百万円（同4.8%減）、経常利益は1,299百万円（同1.4%減）、四半期純利益は581百万円（同24.9%増）となりました。

主な事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### 〈家具・インテリア事業〉

家具・インテリア事業につきましては、一部の業績好調部門が全体を牽引し、売上高は12,453百万円（同3.9%増）、営業利益は769百万円（同3.9%増）となりました。

部門別では、オフィスインテリア部門につきましては、環境適応商品の営業推進、特需案件納入により、売上高は3,047百万円（前年同期比22.9%増）となりました。店舗インテリア部門は前年の出店凍結解除により、売上高は2,708百万円（同47.8%増）となりました。施設インテリア部門は比較的好調な医療福祉、温浴市場がホテル市場の低迷をカバーするに至らず、売上高は4,413百万円（同22.6%減）となりました。ホームインテリア部門はホームカタログの発刊効果により、売上高は897百万円（同29.3%増）となりました。

#### 〈放送・通信事業〉

放送事業では、高画質で大容量のブルーレイ対応チューナーの導入など利用者へのサービスの充実に努める一方、アナログ放送契約からデジタル放送契約への変更費用が割安となるキャンペーンを実施しました。

通信事業におきましては、光インターネットによる高速で安定したサービスと光電話によるセット割引や携帯電話との割引によるメリットを分かりやすく案内することで新規契約の獲得に努めました。

また、平成23年7月の地上アナログ放送終了を控え、岡崎市内中心部より周辺部への光エリアの拡張、「光テレビ」「光インターネット」「光電話」のトリプルプレイサービスを積極的に展開するなど利用者の利便性向上と、デジタル契約拡大の営業活動に引き続き注力しました。

このような活動の結果、売上高は2,175百万円（同0.4%増）、営業利益は433百万円（同17.3%減）となりました。

なお、記載金額には消費税及び地方消費税（以下「消費税等」という。）は含まれておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

総資産については、前連結会計年度末に比べて2,021百万円増加し、29,723百万円となりました。流動資産は15,586百万円となり、主なものは現金及び預金9,229百万円、受取手形及び売掛金5,266百万円であります。固定資産は14,137百万円となり、主なものは建物及び構築物3,727百万円、投資有価証券4,334百万円であります。

負債については、前連結会計年度末に比べて1,940百万円増加し、10,640百万円となりました。流動負債は8,561百万円となり、主なものは支払手形及び買掛金5,243百万円であります。また、固定負債は2,078百万円で、主なものは役員退職慰労引当金1,612百万円であります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて81百万円増加し、19,082百万円となりました。自己資本は16,765百万円となり、自己資本比率56.4%、1株当たり純資産額は1,378.69円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期における営業利益及び経常利益は前年同期実績を下回る水準で推移しており、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続くものと予想されますが、今後も更なる売上の拡大、生産性向上及びコスト削減等に努めてまいります。

従いまして、平成22年10月期の連結業績予想につきましては、平成22年5月21日に公表した業績予想数値を変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

#### 1) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

#### 2) 棚卸資産の評価方法

棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

#### 3) 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年7月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,229,214	7,895,891
受取手形及び売掛金	5,266,482	4,150,374
有価証券	377,402	344,870
商品及び製品	238,384	263,001
原材料及び貯蔵品	165,884	152,829
繰延税金資産	83,199	121,361
その他	236,573	203,103
貸倒引当金	△10,550	△9,094
流動資産合計	15,586,591	13,122,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,727,427	3,896,538
機械装置及び運搬具（純額）	576,003	414,348
土地	2,980,627	2,973,547
その他（純額）	535,418	333,320
有形固定資産合計	7,819,477	7,617,755
無形固定資産		
その他	60,052	65,642
無形固定資産合計	60,052	65,642
投資その他の資産		
投資有価証券	4,334,549	4,941,560
保険積立金	1,745,415	1,769,732
前払年金費用	—	6,866
繰延税金資産	12,839	5,712
その他	229,041	233,370
貸倒引当金	△64,123	△60,734
投資その他の資産合計	6,257,723	6,896,507
固定資産合計	14,137,253	14,579,905
資産合計	29,723,844	27,702,241

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年7月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,243,398	3,593,850
短期借入金	1,500,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	288,000	292,000
未払法人税等	253,129	286,556
賞与引当金	117,000	187,600
役員賞与引当金	13,200	17,600
通貨スワップ等	305,382	314,635
その他	841,855	604,646
流動負債合計	8,561,965	6,596,890
固定負債		
長期借入金	122,000	188,000
退職給付引当金	37,297	14,154
役員退職慰労引当金	1,612,065	1,573,435
繰延税金負債	—	180,519
その他	307,631	147,870
固定負債合計	2,078,994	2,103,979
負債合計	10,640,959	8,700,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,362,498	6,362,498
資本剰余金	5,401,276	5,401,276
利益剰余金	6,197,051	5,835,143
自己株式	△1,170,041	△1,091,331
株主資本合計	16,790,785	16,507,586
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	78,715	403,386
繰延ヘッジ損益	△33,613	△37,369
為替換算調整勘定	△70,118	△84,638
評価・換算差額等合計	△25,017	281,378
少数株主持分	2,317,117	2,212,406
純資産合計	19,082,885	19,001,372
負債純資産合計	29,723,844	27,702,241

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年10月21日 至 平成21年7月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年10月21日 至 平成22年7月20日)
売上高	14,160,943	14,634,111
売上原価	10,138,916	10,655,764
売上総利益	4,022,027	3,978,346
販売費及び一般管理費		
運搬費	228,728	245,700
貸倒引当金繰入額	482	7,543
役員報酬及び給料手当	1,193,940	1,213,639
賞与引当金繰入額	89,900	102,100
役員賞与引当金繰入額	15,000	13,200
役員退職慰労引当金繰入額	38,192	38,629
退職給付費用	51,744	55,299
減価償却費	115,725	108,938
その他	1,021,338	987,434
販売費及び一般管理費合計	2,755,052	2,772,484
営業利益	1,266,974	1,205,862
営業外収益		
受取利息	17,869	8,179
受取配当金	64,653	57,893
保険解約返戻金	79,206	16,179
その他	52,537	75,101
営業外収益合計	214,266	157,354
営業外費用		
支払利息	30,051	18,960
デリバティブ評価損	35,738	36,385
通貨スワップ等評価損	87,288	—
その他	10,201	8,870
営業外費用合計	163,281	64,216
経常利益	1,317,959	1,299,000
特別利益		
固定資産売却益	233	428
投資有価証券売却益	2,530	74,686
特別利益合計	2,763	75,115
特別損失		
固定資産売却損	4,452	461
投資有価証券売却損	—	9,597
投資有価証券評価損	126,303	37,310
会員権評価損	5,200	180
会員権売却損	4,750	—
特別損失合計	140,706	47,549
税金等調整前四半期純利益	1,180,017	1,326,566
法人税、住民税及び事業税	495,080	558,042
法人税等調整額	69,625	41,583
少数株主利益	149,713	145,488
四半期純利益	465,597	581,452

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。